

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 6 月 10 日現在

機関番号：12401

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2011～2013

課題番号：23520417

研究課題名(和文) 短篇白話小説集「三言」会校会評本の作成

研究課題名(英文) A compilation and reconstruction of colloquial short stories called San-yan and its criticisms

研究代表者

大塚 秀高 (OTSUKA, Hidetaka)

埼玉大学・教養学部・教授

研究者番号：30126007

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,400,000円、(間接経費) 1,020,000円

研究成果の概要(和文)：明末天啓年間に、馮夢龍がそれ以前に単行本あるいは別の短篇小説集に含めて刊行されていた短篇小説を集め、そこに自作の作品を交えて出版した、それぞれ四十篇からなる口語の三つの短篇小説集「三言」『古今小説(諭世明言)』、『警世通言』、『醒世恒言』につき、現在入手可能なテキストを比較校合して定本を作成するとともに、そこに付されている批評を集成復元し、考えられうる最もよいテキストを作成した。またその過程で得た知見を論文として発表し、内外の各種学会で報告した。

研究成果の概要(英文)：At the end of Ming dynasty called the Tian-qi Era, Feng Meng-long published three collections of short stories written in colloquial style. They are called San-yan in general. It is composed of Gu-jin Xiao-shuo(Yu-shi Ming-yan), Jing-shi Tong-yan and Xing-shi Heng-yan. We edited the standard texts of San-yan by comparing and examining all the extant texts and collecting and restoring all the criticisms.

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学 各国文学・文学論

キーワード：三言 古今小説 警世通言 醒世恒言 諭世明言 馮夢龍 会校会評本 中国文学

1. 研究開始当初の背景

馮夢龍の三言にはすでに多くの活字本が出版されており、影印本も公刊されている。しかし影印本はそれぞれただ一種の版本を何度も異なる書肆が刊行したものにすぎず、活字本もそれをそのまま活字に直したものにすぎない。三言には複数の、内容に異同を伴った版本があるが、そのほとんどすべてが天下の孤本であり、なおかつ閲覧の容易でない機関に蔵されている。このため、それらを比較対照し定本を作成する作業はこれまでなされてこなかった。また、それらの天頭に付されている眉批などは、活字本作成に際し無視され、研究の俎上に上ることはなかった。

2. 研究の目的

中国明代後期、天啓年間以降には多くの口語の短篇小説集が刊行された。その代表的なおかつ最多の作品を集めたシリーズが馮夢龍編集とされる「三言」である。「三言」は、各40篇の短篇小説を収める『古今小説』、『警世通言』、『醒世恒言』の総称で、これにやや遅れ、同じく各40篇の作品を収める二つの小説集「二拍」とともに、明末に出版された短篇小説集の双壁をなしている。江戸時代の読本に影響を与えた『今古奇観』は、この総計200篇(実数は198篇)の作品から40篇を選んだ選本であった。本研究は、現存する『古今小説(再版時に『諭世明言』と改称した)』、『警世通言』、『醒世恒言』の40巻本とその系列の版本のすべてを校合し、馮夢龍の稿本ないしは初版本に近いテキストを復元し、同時にそこに附されている批評のすべてを再現した、最良の校合評本を作成し、それを中国の出版社から公刊し、内外の研究者ならびに一般読者の閲覧に供しようとするものである。

3. 研究の方法

「三言」と総称される『古今小説』、『警世通言』、『醒世恒言』の明末刊本ないし明末刊清印本の信頼できる影印本ないし影照本(WEB上に公開されているものはそれによる)を収集し、それらを校合して第1次定本を作成する。これには脚注ないし校記の形式で文字の異動などを記しておく。この第1次定本の該当箇所、各種批評ならびに評点を附し、これを最終定本とし、これを可能な限り最終定本の文字に沿った形で活字化する(異体字、俗字などの細かい相違も可能な限りそのまま再現する。ただし出版社の都合により変更はありうる)。こうして出来上がった定本の巻頭に、依拠した版本の所蔵機関の許可を得たうえで、必要に応じ本文ないし挿絵の写真を冠する。また、凡例ならびに各種版本の概況、その相互の相違、本文ならびに挿絵の版本の流れなどを記した解説をこれに附す(担当は下記による。中国での出版を予定しているた

め、解説については廣澤・大塚分についても中国語による)。以上の計画を可及的すみやかに実施し、成果を中国の上海古籍出版社から出版し、日中の研究者の研究に資するとともに、中国の大方の読者の閲覧に供する。

『古今小説』は立命館大学文学部准教授の廣澤裕介が担当する。『古今小説』の定本作成には以下の諸本を使用する。40巻40篇本として、尊経閣文庫蔵本、独立行政法人国立公文書館附属内閣文庫蔵天許齋蔵版本、法政大学図書館蔵本(内閣文庫蔵本の同版不全本。ただし内閣文庫蔵本より早印本であり、判読可能な批評は内閣文庫本より多い)を、節略24巻本としては、内閣文庫所蔵の『諭世明言(重刻増補古今小説)』24篇中の21篇、並びに天理図書館所蔵の『衍慶堂刊二刻増補警世通言』24篇中の1篇。さらに北京大学図書館所蔵の残本(3篇のみ)を使用する。

『警世通言』は埼玉大学教養学部教授の大塚秀高が担当する。『警世通言』の定本作成には以下の諸本を使用する。40巻40篇本としては、東京大学東洋文化研究所倉石文庫所蔵の金陵兼善堂刊本、名古屋市蓬左文庫所蔵の同版後修本、早稲田大学図書館蔵本(兼善堂本系統の、補刻葉を含む後期の刊本)、佐伯市立教育委員会所蔵の清初刊本(兼善堂本と異版)を、節略24巻本としては、内閣文庫所蔵の『諭世明言(重刻増補古今小説)』24篇中の1篇、並びに天理図書館所蔵の『衍慶堂刊二刻増補警世通言』24篇中の23篇、東京大学東洋文化研究所双紅堂文庫所蔵の明刊後修本『醒世恒言』24篇中の1篇。

『醒世恒言』は研究協力者で中国上海在住の小説版本研究家・李金泉が担当する。李金泉は大学に所属する研究者ではないが、余暇のすべてを使って中国通俗小説の版本研究に従っており、中国の『明清小説研究』などの専門誌に複数の論文を発表している。そのなかには『醒世恒言』関係の論文も含まれる(「二十四巻本《醒世恒言》版本初探」など)。『醒世恒言』の定本作成には、以下の諸本を使用する。40巻40篇本としては、内閣文庫所蔵の金陵葉敬池原刊本、並びにこの同版後修本とされる天理図書館所蔵の金陵葉敬深刊本、東京大学東洋文化研究所などに蔵される清初衍慶堂刊40篇本を、節略24巻本としては、内閣文庫所蔵の『諭世明言(重刻増補古今小説)』24篇中の2篇、並びに東京大学東洋文化研究所双紅堂文庫所蔵の明刊後修本『醒世恒言』24篇中の22篇。

4. 研究成果

大塚担当の『警世通言』については定本作成を終え、中国の研究者李金泉も『醒世恒言』の定本作成を終えていると聞く。ただ研究協力者廣澤裕介担当の『古今小説(諭世明言)』の定本作成が若干遅れている。三者が出揃った段階で上海古籍出版社に入稿し、可及的速やかに一括して「三言」の定本を出版するこ

とにしている。出版契約については李金泉に一任しているが、完了していると聞く。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計14件)

大塚秀高・王佳 『小説粹言』の依拠した白話短篇小説集 不匱堂本『今古奇観』と『小説選言』 『中国古典小説研究』18 59-82p 2014 査読有

大塚秀高 西王母文学の流れ 『埼玉大学紀要 教養学部』49-2 33-39p 2014 査読有

大塚秀高 宋太祖趙匡胤をめぐる清朝宮廷連台戯 埼玉大学大学院文化科学研究科紀要『日本アジア研究』11 25-129p 2014 査読有

大塚秀高 『中国小説絵模本』に見る中国小説の挿絵 『アジア遊学』2014-2 147-163p 2014 査読無

廣澤裕介 『全相平話』のビジュアルワールド 「上」から見る作品の素顔 『アジア遊学』2014-2 33-49p 2014 査読無

大塚秀高 《警世通言》版本新考(中国語版) 『文学遺産』2014-1 65-80p 2014 査読有

廣澤裕介 《喻世明言》四十巻本考(中国語版) 『国際漢学研究通訊』8 130-147p 2014 査読有

大塚秀高 『鉄騎陣』と『昭代簫韶』 埼玉大学大学院文化科学研究科紀要『日本アジア研究』10 73-124p 2013 査読有

大塚秀高 「楚漢」と『楚漢春秋』 埼玉大学大学院文化科学研究科紀要『日本アジア研究』10 125-156p 2013 査読有

大塚秀高 「戦闘時事版画」の誕生をめぐって 『埼玉大学紀要 教養学部』48-1 35-47p 2012 査読有

大塚秀高 『昭代簫韶』と楊家将物語 『東北アジア研究センター叢書』49 3-46p 2012 査読有

大塚秀高 『警世通言』版本新考 埼玉大学大学院文化科学研究科紀要『日本アジア研究』9 1-43p 2012 査読有

大塚秀高 歴史演義小説の図像の淵源 『埼玉大学紀要 教養学部』47-2 47-53p 2012 査読有

廣澤裕介 北京図書館所蔵『喻世明言』残本について 短篇小説集印行の軌跡 『学林』53-54 416-430p 2011 査読有

[学会発表](計13件)

大塚秀高 李氏朝鮮に持ち込まれ、その後失われた中国白話小説の版本 早稲田大学中国文学会第三十八回秋季大会

2013.11.30 東京・早稲田大学

大塚秀高 《小説粹言》所依拠の白話短篇小説集 不匱堂本《今古奇観》与《小説選言》(by Chinese) 第十二届中国古代小説、戯曲文献暨数字化国際研討会 2013.8.28 上海・復旦大学

廣澤裕介 《喻世明言》四十巻本考(by Chinese) 第十二届中国古代小説、戯曲文献暨数字化国際研討会 2013.8.28 上海・復旦大学

大塚秀高 《警世通言》版本新考(by Chinese) 明代文学学会(籌)第九届年会暨 2013 年明代文学国際學術研討会 2013.8.26 上海・復旦大学

大塚秀高 論西王母文学的變遷(by Chinese) 首届華夏母親節暨第五届海峽兩岸西王母女性文化研討会 2013.8.24 中国・涇川

大塚秀高 清朝宮廷連台戯「鉄騎陣」と「昭代簫韶」(by Chinese) 第五届中国小説与戯曲国際學術研討会 2013.3.29 中華民国・嘉義・嘉義大学

大塚秀高 宋の太祖趙匡胤をめぐる清朝宮廷演劇 『前盛世鴻図』を中心に 第16回特別推進研究「清朝宮廷演劇文化の研究」研究会 2013.3.10 東京・東京駅サピアタワー

大塚秀高 『鉄騎陣』と『昭代簫韶』 第14回特別推進研究「清朝宮廷演劇文化の研究」研究会 2012.10.21 東京・東京駅サピアタワー

大塚秀高 『昭代簫韶』をめぐって 第12回特別推進研究「清朝宮廷演劇文化の研究」研究会 2012.4.21 東京・東京駅サピアタワー

大塚秀高 『警世通言』版本新考 中国古典小説研究会関東例会 2012.3.24 東京・早稲田大学

大塚秀高 西王母の女兒們 從“遇仙”到“陣前比武招親”(by Chinese) 2011年明代文学与文化国際學術研討会 2011.8.16 北京・裕龍大酒店(首都師範大学)

廣澤裕介 《古今小説》諸版本的成書問題(by Chinese) 2011年明代文学与文化国際學術研討会 2011.8.16 北京・裕龍大酒店(首都師範大学)

大塚秀高 歴史演義小説図像の淵源(by Chinese) 第十届中国古代小説、戯曲文献与数字化研討会 2011.8.14 北京・首都師範大学

[図書](計4件)

尾崎雄二郎他 『中国文化史大事典』 大修館書店 大塚秀高 項目解説 2013 1493p

『岩波世界人名大辞典』 岩波書店 大塚秀高 項目解説 2013 3586p

三山陵編 『フルカラーで楽しむ中国年画の小宇宙 庶民の伝統藝術』 勉誠出

版 大塚秀高 項目解説 征西演義・楊家將・水滸後伝・説岳全伝 2013 227p
瀧本弘之編 『中国古典文学挿画集成小説集〔二〕』 遊子館 大塚秀高 解説二・岳飛をめぐる通俗小説の挿画 35-40p 2012 644p

〔産業財産権〕

出願状況（計0件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況（計0件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

なし

6. 研究組織

(1) 研究代表者

大塚秀高(OTSUKA, Hidetaka)

埼玉大学・教養学部・教授

研究者番号：30126007

(2) 研究分担者

廣澤裕介(HIROSAWA, Yusuke)

立命館大学・文学部・准教授

研究者番号：20513188

(3) 連携研究者

()

研究者番号：